

6. 緑化重点地区の設定

6.1 緑化重点地区の選定

アンケート調査結果によれば、住まいの周りの緑について「緑が多いと感じている」という回答が全体で60%弱（三瓶地区：約47%、宇和地区：約59%、野村地区：約70%）、「まあまあ緑が多いと感じている」という回答が全体で25%強（三瓶地区：約34%、宇和地区：約27%、野村地区：約16%）で合計すると、80%余りの人が緑が多いと感じていることから、緑化を重点的に推進していく地区（以下緑化重点地区）の選定は下記のような方針のもとに行います。

- ◆地域の拠点、シンボルとなる施設や場所を緑化重点地区として選定し、緑化を促進し景観性の向上を図る。
- ◆既存および計画も含めて、地域の財産であり人々が活動しやすい都市公園などの施設緑地を緑化重点地区とする。
- ◆民有地については、エリアを決めた緑化重点地区の選定は行わず、パンフレットなどによる緑化に関する情報提供・啓蒙を通じて、個々の緑化促進を図る。

○西予都市計画区域（三瓶地区）（P42 参照）

- ・三瓶支所周辺は、地域の人々が日常的に利用し、小学校も近く、文化会館や公園などの公共施設がまとまって存在することから、緑化重点地区として選定します。
- ・既存公園緑地の緑化を進めます。また、緑化の余地があまりない小規模な公園については、植栽等により景観性を高めます。



○西予都市計画区域（宇和地区）（P43 参照）

- ・卯之町駅東側の市役所や宇和文化会館、都市計画街路を重点的に緑化し、卯之町駅のエントランス、宇和地区の行政中心地・核としての景観性の向上を図ります。
- ・市街地に沿って流れる宇和川（肱川）は、良好な水辺空間を有していることから、市街地に隣接している川沿いの緑化を検討し、緑の軸として位置づけます。
- ・既存公園緑地の緑化を進めます。緑化の余地があまりない小規模な公園については、植栽等により景観性を高めます。

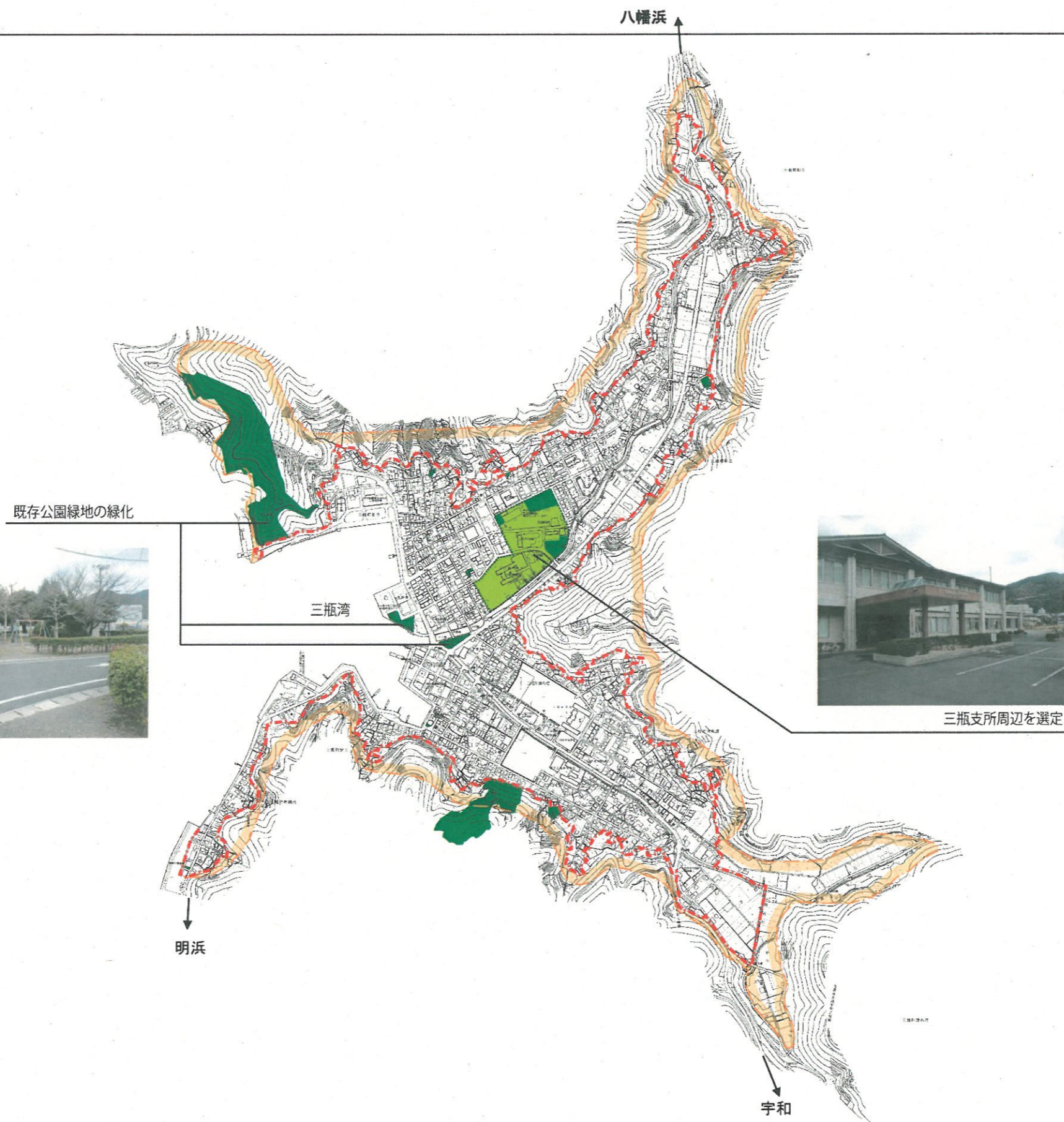
○西予都市計画区域（野村地区）（P44 参照）

- ・市街地背後の樹林地の中核となっている愛宕山公園および野村地区公園の保全活用を行うとともに、各公園を緑化啓蒙活動の拠点として位置づけます。
- ・乙亥会館横の公園については、植栽等により景観性を高めます。
- ・市街地に沿って流れる肱川は、良好な水辺空間を有しているとともに、野村地区の骨格的な緑地であることから、川沿いの緑化を検討し、緑の軸として位置づけます。

緑化重点地区

| | |
|---|-----------------|
|  | 緑化重点地区とする公園緑地 |
|  | 公共施設等を含んだ緑化重点地区 |

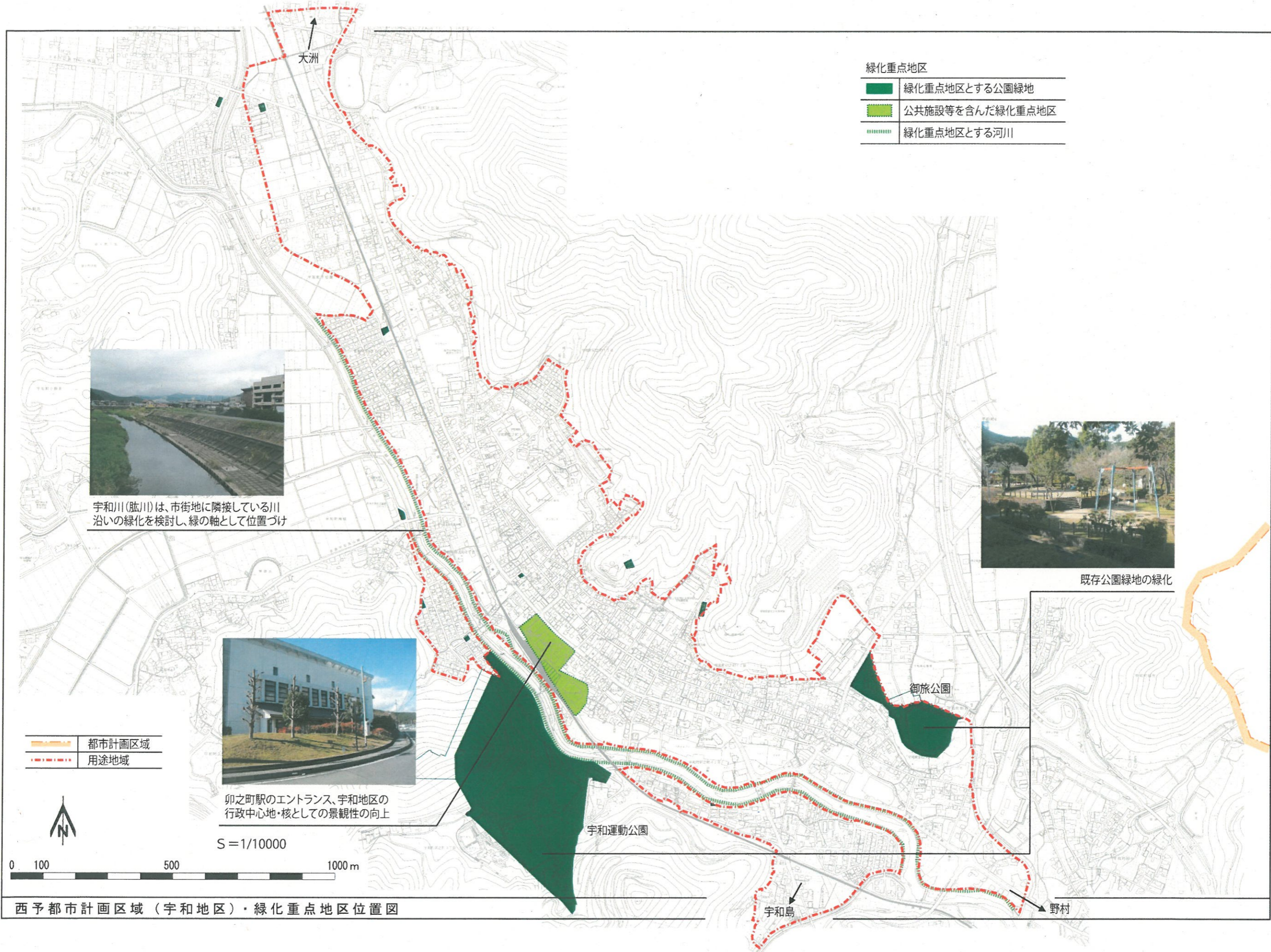
| | |
|---|--------|
|  | 都市計画区域 |
|  | 用途地域 |



0 100 500m

S=1/12500

西予都市計画区域（三瓶地区）・緑化重点地区位置図



緑化重点地区

| | |
|--|-----------------|
| | 緑化重点地区とする公園緑地 |
| | 公共施設等を含んだ緑化重点地区 |
| | 緑化重点地区とする河川 |



宇和川(肱川)は、市街地に隣接している川沿いの緑化を検討し、緑の軸として位置づけ

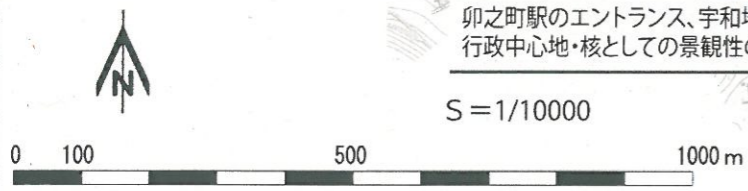


既存公園緑地の緑化



卯之町駅のエントランス、宇和地区の行政中心地・核としての景観性の向上

| | |
|--|--------|
| | 都市計画区域 |
| | 用途地域 |



西予都市計画区域（宇和地区）・緑化重点地区位置図

緑化重点地区

- 緑化重点地区とする公園緑地
- 緑化重点地区とする河川

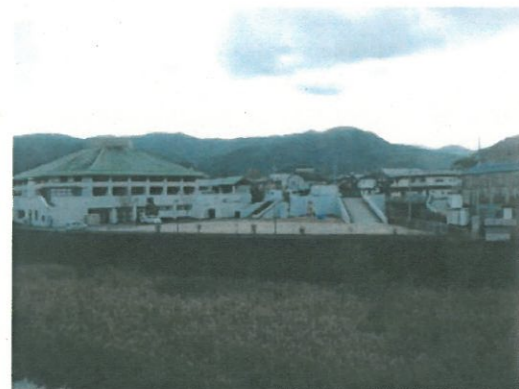
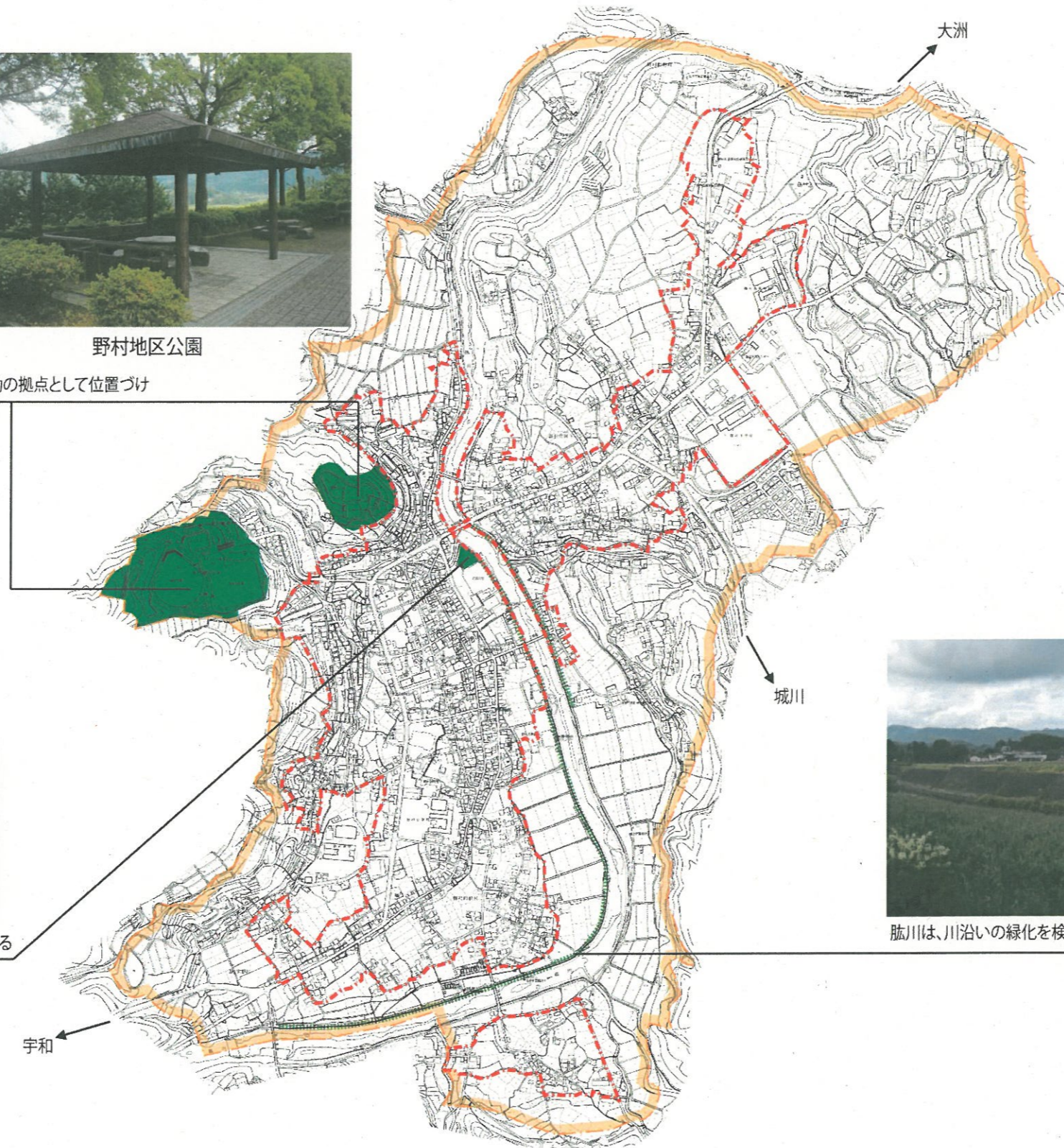


愛宕山公園

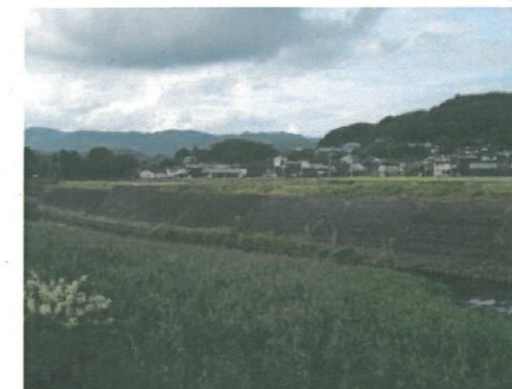


野村地区公園

愛宕山公園および野村地区公園の保全活用、緑化啓蒙活動の拠点として位置づけ



乙亥会館横の公園については、植栽等により景観性を高める



肱川は、川沿いの緑化を検討し、緑の軸として位置づけ

- 都市計画区域
- 用途地域



S = 1/12500

西予都市計画区域（野村地区）・緑化重点地区位置図

6.2 緑化重点地区における整備方針

前項で緑化重点地区として、既存の公園緑地や拠点となる公共施設、河川を選定しましたが、それぞれ下記のような方針のもとに緑化を行います。

○公園緑地

- ・既存の公園緑地のうち、山間に立地しているものは、緑の量は十分に満たされていることから、四季折々の風情、例えば花見や紅葉などが楽しめるような緑の質に配慮した緑化を進めます。
- ・市街地内に存在する既存の公園緑地は、敷地規模が小さく緑化余地が少ないが、地域にとっては、貴重なオープンスペースであることから、その用途を妨げない位置に植栽を行います。
- ・新たな都市公園については、地域の憩いの場、景観の拠点となるような緑化を進めます。
- ・緑の導入にあたっては、もともと地域に育成していた樹種を基本とします。

○拠点となる公共施設

- ・公共施設の敷地周りの緑化を進め、緑の量の確保と地域景観の向上に配慮した緑化を検討します。
- ・新たな都市公園は、既存の公園や神社などの緑と一体的になって地域の環境改善に役立つ拠点となるような緑化を検討します。

○拠点となる河川

- ・地域の中核をなす河川そのものの景観性が高いため、川沿いに一体となった並木状の高木植栽や低木植栽等の緑化を検討し、緑の軸としての景観性を高めます。